

<平城宮いざない館>世界遺産学習シート 利用の手引き

- ◆この学習シートは小学校中学年以上を対象として設定しています。
- ◆社会科総合学習の副読本『奈良県の暮らし』66～77頁に沿った内容となっています。事前学習や、見学時のワーク用の資料としてご利用ください。
- ◆ここでは、用語の解説、ポイント、学習を発展的に考える際のヒントを提示しています。

※年表でおおまかな時代の流れが掴めます。

1 この設問のねらい

- ・世界遺産「古都奈良の文化財」を知る。



ポイント

「平城京」という都市の中には、「平城宮」という皇居と霞が関の官庁街を合わせたような場所があり、社寺は平城京の中にありました。

発展

- ・他にどんな世界遺産や文化財があるかな？

2 この設問のねらい

- ・文化財の保存には研究者だけではなく、様々な人々の努力や協力が必要なることを知る。



ポイント

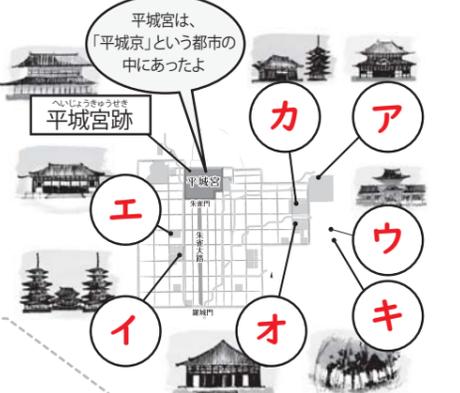
過去の地元の人々の活動
世界遺産に認定されるには、まず、史跡などの文化財に指定されなければなりません。幕末の北浦定政、明治の学者による平城京研究の萌芽を礎として、明治・大正の棚田嘉十郎ら地元の人々による保存顕彰運動が結実し、平城宮跡は国の史跡となりました。



1 世界遺産「古都奈良の文化財」

平城宮跡以外の世界遺産に登録された場所は、どこにあるでしょう。○の中に記号を入れましょう。

- | | | |
|--------|----------|--------|
| ア 東大寺 | イ 薬師寺 | ウ 春日大社 |
| エ 唐招提寺 | オ 元興寺 | |
| カ 興福寺 | キ 春日山原始林 | |



2 文化財の保存につくした人々

次の文の()に当てはまる人の名前を、記号で答えましょう。

- 江戸時代、(**イ**)は、自分で作った道具で測量し、古い記録も研究しながら、平城京の復元図を完成させました。
- 右の写真は、平城宮跡の保存の土台を作った(**ア**)の像です。明治から大正にかけて平城宮跡の保存に力をつくしました。

- | | | | |
|---------|--------|--------|---------|
| ア 棚田嘉十郎 | イ 北浦定政 | ウ 伊能忠敬 | エ 阿倍仲麻呂 |
|---------|--------|--------|---------|

【棚田嘉十郎】
奈良の植木職人。観光客から奈良時代の宮跡を聞かれることを契機に、平城宮の保存と顕彰運動に生涯を捧げた。私財でビラを配り、道標を立てるなどして啓蒙し、政財界の要人らに協力を仰ぎ土地を買い上げ、最終的に国に寄付する。嘉十郎が亡くなった翌1922年に大極殿跡が史跡に指定された。

【北浦定政】
江戸時代の国学者。平城京の旧跡の測量を行う。平城京の復元図である「平城宮大内裏跡坪割之図」を完成させ、その後の平城京研究の礎を築いた。奈良市古市町の念佛寺に墓所がある。

3 この設問のねらい

- ・埋蔵文化財が世間に公開されるまでの過程について理解を深める。

【発掘調査】
土の中に残された古代の人々の形跡を掘りだし、歴史を復元する作業。日本では、全国の地方公共団体などが毎年約9000件の発掘調査を行なっています。

【測量・記録】
発掘で得られた成果は、図面や写真などで正確な記録を残す必要があります。発掘後は、遺構の劣化を防ぐため再び埋め戻して地下に保存します。

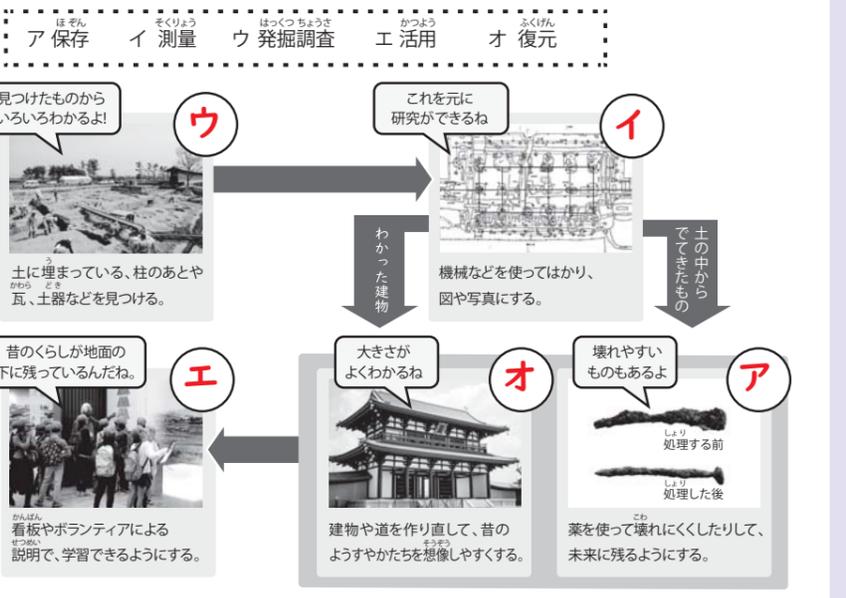
【復元・活用】
建物を当時の姿に復元し、史跡を整備することで、史跡の価値をイメージしやすくするとともにイベントや憩いの場として史跡を身近な場として利用してもらいます。

ポイント
平城宮跡の発掘調査は奈良文化財研究所がおこなっています。奈良県には遺跡や古墳などがたくさんありますが、それらの調査や保護には、奈良県や各市町村が取り組んでいます。県内の遺跡や文化遺産に興味をもってもらい、未来の考古学や文化財を担う人材が育ってくれることを願います。

発展
・平城宮跡資料館や遺構展示館などを訪れ、実際の遺構や遺物を見てみよう。

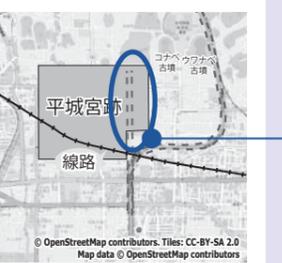
3 文化財を保存するための作業・活動

文化財を未来に残していくためには、さまざまな作業・活動が必要です。説明にあてはまる用語を、からえらんで、記号で答えてください。



4 文化財の保護

- 国道24号バイパス(道路)を作るとき、初めの計画では --- のまっすぐな道になる予定でしたが、--- に変更されました。なぜだと思いますか？正しいものに○をつけましょう。
() 川や山をよけるため
(**○**) 遺跡を壊さないようにするため
() 市役所や病院に行きやすくするため
- 平城宮跡には電車の線路が走っています。なぜだと思いますか？正しいものに○をつけましょう。
(**○**) 遺跡がもっとせまいと考えられていたから
() 電車からよく見えるようにしたかったから
() 古代の道路の上に線路をつくったから



ヒント
線路ができたのは、本格的な調査が始まる前だよ。

4 この設問のねらい

- ・文化財の保護と地域開発のバランスの難しさについて考える。

①の背景
発掘調査で東院が発見され、当初考えられていたよりも平城宮の形状が東側に張り出すことがわかりました。その結果、道路を迂回するルートに変更されたのです。

②の背景
日本でも珍しい世界遺産を走る電車には、調査の進展と開発という背景がありました。

発展
・保護者のかたと、迂回する国道24号線や平城宮を横切る近鉄電車を体感し、家族で話し合ってみよう。

ポイント
平城宮跡の保存の危機
宮西南部の鉄道の車庫の建設計画、宮東部のバイパス計画と、二度の大きな危機に見舞われますが、全国的な市民運動のおかげで遺跡の全域保存が実現されます。調査の成果と多くの人々の尽力の賜物といえるでしょう。

5 この設問のねらい

- ・復元された遺構で、当時の広さを体感する。
- ・史跡の活用を考える。



ポイント

当時を体感できるように復元された建物や遺跡を、現代でどのように活かせるか、子どもたちの自由な発想で考えてください。

さまざまな用途で史跡を活用することが、文化遺産を未来に伝えるために役立ちます。

5 古代の道「朱雀大路」

朱雀門の前の大きな道は、復元した「朱雀大路」です。(あなたがいる「平城宮いざない館」の前の道です。)

- 1 大きさを調べて書きましょう。 **てんじしつ 展示室1**

幅: 約 **74** メートル

長さ: 約 **4** キロメートル

- 2 朱雀門の前は、絵のように広場としても使われていました。

今、みんなで楽しめるイベントをするなら、なにをしますか?あなたの考えを書いてください。



チャレンジ問題

奈良時代には、元旦の儀式や、外国の使節の送迎、歌をかけ合う歌壇というイベントが行われました。

現在は、天平祭などのイベントで使用されています。朱雀大路の広さを生かしたアイデアを出してください。

6 はくつ 発掘されたものからわかる、昔の暮らし **展示室3、4**

- 1 写真の **ア** はなんというものですか? 名前を書きましょう。

木簡 (もっかん)

- 2 **ア** は何に使われたものですか? いまの文房具の名前で書いてください。

ノート、メモ、荷札など、紙・札類

- 3 **ア** に書かれていた文字から、奈良時代のことわかります。昔の調味料にはどんなものがありますか?展示を見て書きましょう。

塩 酢 醤 末 醤 豉 糖 など

- 4 奈良時代のもので、あなたが食べてみたいものはなんですか?展示を見て、書きましょう。

展示されている食べ物を書いていれば正解としてください。ワカメ、米、アユ、サザエ、ウニ、ササゲ、クルミ など



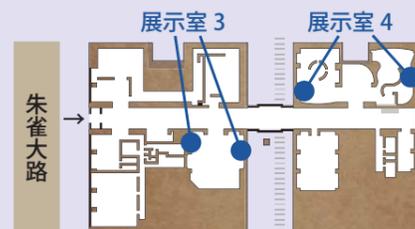
チャレンジ問題

【平城京に運ばれてきた、日本全国の特産品】
展示室3に、「地域と食べ物」パズル、展示室4に日本地図があります。



6 この設問のねらい

- ・平城宮跡で出土する「木簡」を知る。



ポイント

大きく改変されずに保存された平城宮跡は、地下水位が高く、木簡などの木製遺物が良い状態で地下に残されています。当時の食生活や、地名、税や職掌などの制度がわかる木簡は、貴重な資料として、**2017年に国宝に指定**されました。

食べ物は、時代を越えて共通する話題の一つです。古代の人々も、自分が知っているものを食べていたんだ!と思えば、より身近に感じられることでしょう。

7 この設問のねらい

- ・昔の人々のくらしを想像する。
- ・古代の人々を身近に感じる。



ポイント

いざない館の各所には表情ゆたかな古代の人々の絵や人形を展示しています。奈良時代ならではの仕事や、現代に通じる仕事を知り、当時の生活を想像してみましょう。

発展

この人形の右側の壁にある役人の組織表で、どんな職業があるのか見てみよう。



7 昔も今も、働く、働く。

写真は、なにをする仕事の人でしょうか? 展示を見て仕事内容を調べましょう。



鍛冶司: **展示室3**
鉄製品をつくる仕事。(釘などをつくる仕事)



大膳職: **展示室4**
料理をつくる仕事

8 古代もリサイクル **展示室4**

- 1 **ごみ**を資源に変えて再利用することを「リサイクル」といいます。平城宮では、平城京にうつる前の都・藤原京で使っていた柱や、柱をささえる石(礎石)や、瓦などをリサイクルしていました。



写真の細長い木製品は、リサイクル前は何につかわれていたものですか。

柱もしくは塀

リサイクル後は何になりましたか。

木樋 (もくひ) もしくは排水管

- 2 現在、リサイクルできるもので作られている製品には、リサイクルマークが付いています。リサイクルマークの絵を描いてみましょう。



チャレンジ問題



左の他、多数正解があります。実際に使われているものを正解としてください。

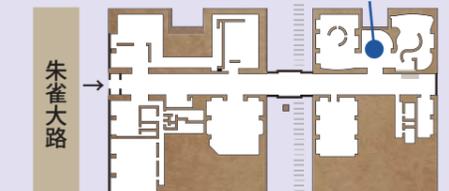
作られているものによってマークがちがうよ **ヒント**

作成者: 平城宮跡管理センター
監修: 奈良文化財研究所 協力: 奈良県、奈良市教育委員会

平城宮跡歴史公園
Nara Palace Site Historical Park 2020.03作成

8 この設問のねらい

- ・現代に通じるリサイクルから、古代との共通点を知る。



この木樋は、藤原宮を囲っていた塀の柱を、大極殿院の排水管として転用したものだ。

ポイント

他の授業でもリサイクルについて考える機会があることでしょう。

車や電動工具、製造機械などが無い奈良時代の人々は、リユースやリサイクルで資源を有効活用していました。現代もならうところが多いですね。

【その他の事例】

*平城宮の第一次大極殿は、柱や瓦、礎石などの資材に解体し、恭仁宮の大極殿に移築されます。その後、山城国分寺の金堂となり、現在も当時の礎石をみることができます。